PURPOSE

ガス給湯器

取扱説明書 保証書付

品　　名	型 式 名	号 数
GS-A2001E-1 GS-A2001E-1(BL)	GS-A2000E	20号
GS-A2000F-1	GS-A2000F	
GS-A1601E-1	GS-A1600E	16号
GS-A1600F-1	GS-A1600F	

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口にご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名をお知らせください。

もくじ　　ページ

ご利用の前に
- 安全に正しくお使いいただくために …… 1
  - この取扱説明書の表示について …… 1
- 必ずお守りください …… 1
- 各部の名称とはたらき …… 5
- ご利用前の準備 …… 6
  - 機器の準備 …… 6

使い方
- お湯を使うには …… 7
  - お湯を使用する …… 7
- 浴槽にお湯張りをするには …… 9
  - お湯張り機能を使ってお湯張りする …… 9
  - お湯張り温度・お湯張り量の設定 …… 10
- 浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ) … 11
  - 呼び出し機能を利用する …… 11
- 音量を変更するには …… 11
  - 音量の設定 …… 11

必要なとき
- 冬期の凍結予防をするには …… 12
  - 再使用するとき …… 13
  - 凍結してしまったとき …… 13
- 点検のポイント・お手入れのしかた … 14
  - 点検のポイント(月1回程度) …… 14
  - お手入れのしかた(月1回程度) …… 14
  - 点検・お手入れ後の確認 …… 15
- 「あんしん点検」のおすすめ …… 16
  - あんしん点検について …… 16
  - お客様情報について …… 16

困ったとき
- 故障かな？と思ったら …… 17
  - リモコンにエラー番号が出たとき …… 19
  - 使用期間お知らせサインの解除方法 … 20
- アフターサービスについて …… 21
- 仕様一覧 …… 22
- 商品保証書 …… 裏表紙

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P.XX)	参照ページを示しています。

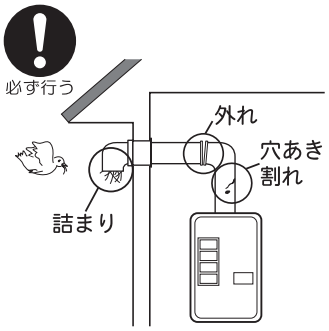
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠危険

給排気管および排気筒の定期点検

●給排気管・排気筒・(給)排気筒トップの外れや、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検をする。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因になり、危険です。



ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。
②ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
③窓や戸を開け、ガスを外に出す。
④お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。

必ず行う

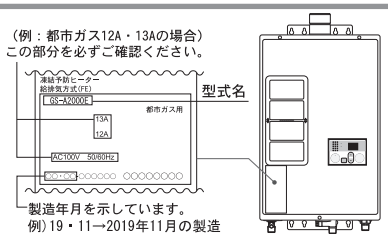
すべての処置が終わるまでの間、絶対に
・火をつけない
・電気器具のスイッチの「入」/「切」をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺で電話を使用しない
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

⚠警告

機器の銘板を確認

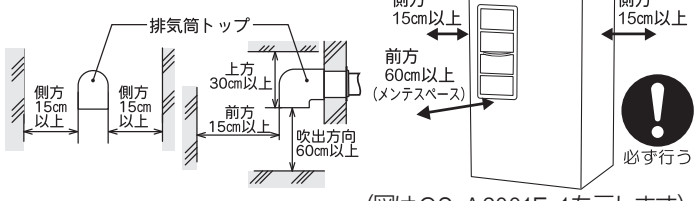
●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常点火によるやけど、機器が故障する場合があります。
●転居時の注意は(→P.21)



必ず行う

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



(図はGS-A2001E-1を示します)

●機器および給排気管・排気筒・(給)排気筒トップの周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。
●機器および給排気管・排気筒・(給)排気筒トップの周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。
●機器および給排気管・排気筒・(給)排気筒トップの周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

禁止
禁止
禁止

必ずお守りください

⚠警告

機器設置および付帯工事
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口に依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

必ず行う

屋外設置の禁止
●この機器は屋内設置形ですので、屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。

増改築などで(給)排気筒トップを屋内状態にしない
●設置後、(給) 排気筒トップを波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁　止

ガス配管接続について
●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口にご相談ください。

必ず行う

改造・分解禁止
●絶対にお客様ご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や故障・火災の原因になります。

分解禁止

換気注意
●換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因になります。
●機器を使用の際は、台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。一酸化炭素中毒の原因になります。

禁　止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意
●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき
・給水温度が高いとき
・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・機器が故障したとき



●入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。

必ず行う

●シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、**運転**スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
●使い始めは正常でも使用中にお湯が熱くなる場合はすぐに使用を中止する。このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。
●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
●浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。

怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

禁　止

高温注意

このような場合は使用しない
●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで(給)排気筒トップを覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

禁　止

異常時の処置について
●地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
①給湯栓を閉める。
②**運転**スイッチを「切」にする。
③ガス栓・給水元栓を閉める。

必ず行う

●給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
②お買い上げの販売店、または弊社窓口に連絡する。

必ず行う

電源コードの束ね・破損・加工禁止
●電源コードを束ねたり傷付けたりしたままの使用や、切断などの加工をしての使用は、感電や火災の原因になります。

禁　止

許容電力以上の使用禁止
●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁　止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグのほこりなどは定期的に取る
●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

必ず行う

電源プラグを抜くときの注意
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。

必ず行う

電源プラグは確実に差し込む
●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

アース必要
●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アースを必ず接続せよ

必ずお守りください

⚠警告

ソーラーシステムと接続する場合
●ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなることがあるので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してから使用する。

禁　止

機器本体やガス配管の接続部などに乗らない
●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

⚠注意

用途についての注意
●一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなど、給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

禁　止

(給)排気筒トップについての注意
●(給)排気筒トップに指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。

禁　止

リモコンの扱いについて
●浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。本体操作部は防水タイプではないので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てたりしない。故障の原因になります。

禁　止

機器本体の高温部に触らない
●使用中または使用後しばらくは、排気筒や(給)排気筒トップ付近を触らない。やけどのおそれがあります。

接触禁止

配管カバーについての注意
●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.15)

必ず行う

お子様には十分な注意を
●浴槽のお湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせたりしない。
●子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

禁　止

乾電池に関する注意
●機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理を行う。

必ず行う

お願い

この機器は一般家庭用です
●業務用のような使い方をされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料となります。

市販の補助用具について
●事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

リモコンの扱いについて
●本体操作部およびリモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

電源プラグを抜かない
●お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

飲用(調理用)にお使いのときは
●機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用(調理用)には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止
●運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びたりしないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防を除く)

雷が発生しているときの注意
●雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜け　感電注意　ぬれ手禁止

停電時または電源プラグを抜いたとき
●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉めてください。
●復電後、本体操作部の設定(給湯温度・湯量など)を行い、表示を確認してからご使用ください。

ガス事故防止のために
●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを本体操作部、またはリモコンの燃焼ランプで確認してください。

必ずお守りください

お願い

断水のとき
●給湯栓を閉め、本体操作部の**運転**スイッチを「切」にしてください。
●断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

スプレー使用注意
●機器の近くでヘアースプレーなどのシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

特監法対象機器
●この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に右図のようなシールが貼付してあるか確認してください。
●シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第６条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	ＴＥＬ
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年　月　日

地下水や温泉水、井戸水では使用しない
●この機器は上水道用です。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させたりするなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水（簡易水道を含む）には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理（井戸水対応品の井戸水使用は除く）となります。
※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。
●温泉水は使用しないでください。

日常の点検・お手入れ
●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10％程度）等で拭き取ってください。

積雪時の閉塞（へいそく）について
●積雪時は給排気管・排気筒・（給）排気筒トップの点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により（給）排気筒トップが塞がれないように注意してください。故障の原因になります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について
●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼・燃焼ファン・ポンプ回転）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者とご相談ください）
●足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス
●増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
●（給）排気筒トップの周囲には、（給）排気筒トップからの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペット・可燃物など）を置かないでください。

給排気について
●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。
●24時間換気システムのとき、室内の給気口・排気口を塞がないでください。機器の凍結の原因になります。

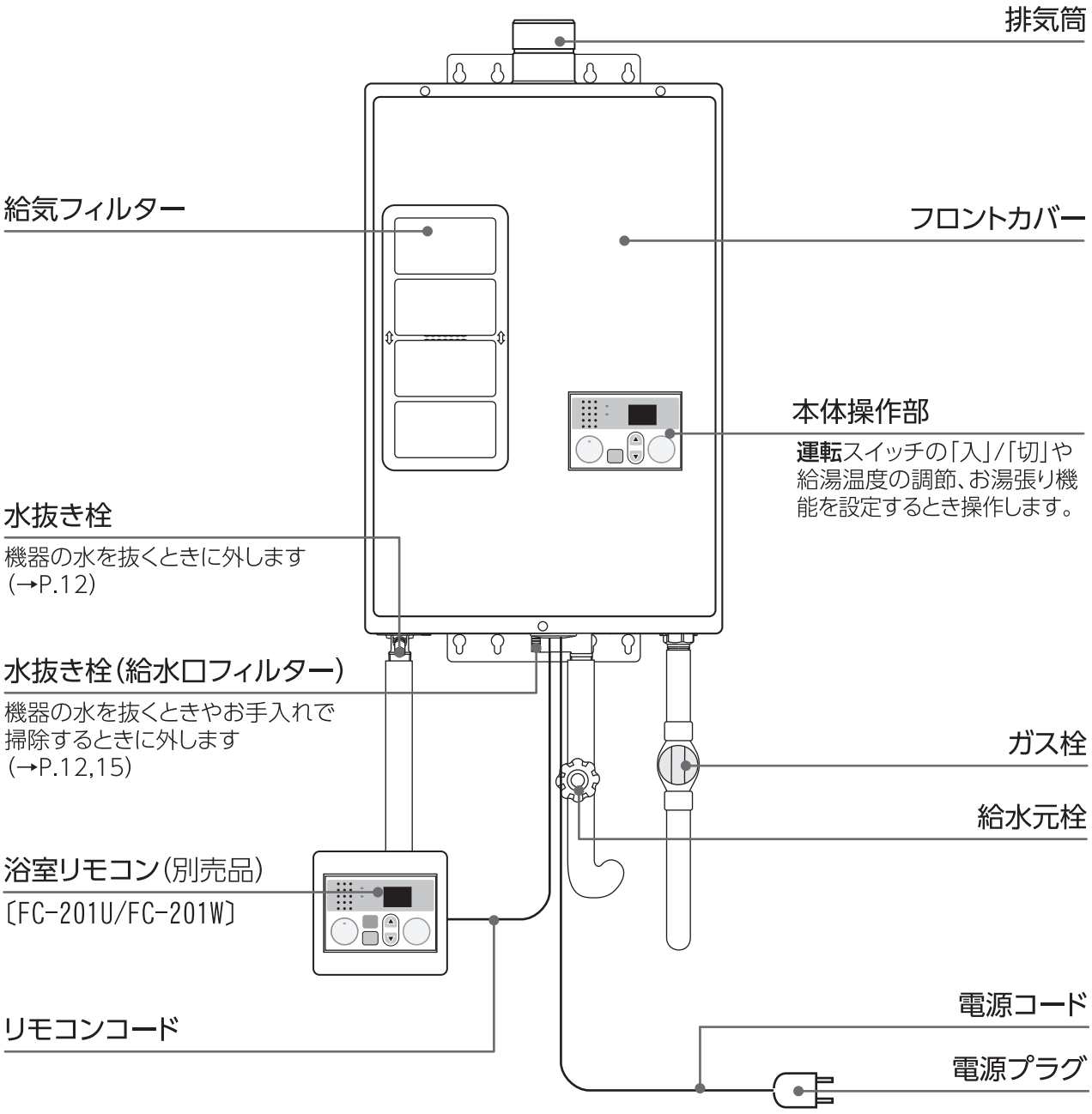
塩ビ管の使用について
●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後、熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯が噴き出すなど、多量の水漏れの原因になります。

ほこり
●砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが（給）排気筒トップを塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

塩害
●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

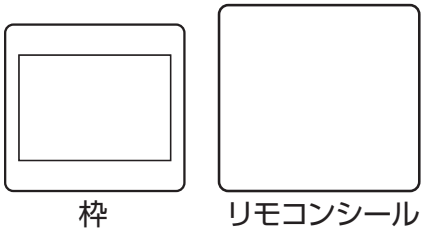
各部の名称とはたらき

□機器本体(図はGS-A2001E-1を示します)



□本体操作部について

本体操作部は取り外すことが可能です。
別売品のリモコン取付部材(PB-42)と組み立てて、台所リモコン〔MC-201〕として使用できます。
リモコン取付部材(PB-42)には、枠・リモコンシール・移設用リモコン接続リード線・ビス類一式が含まれます。
※リモコンコードは別売品となります。



各部の名称とはたらき

□本体操作部

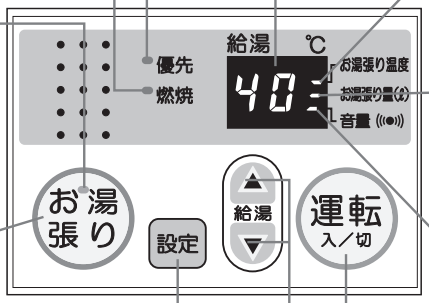
優先ランプ(緑)
優先ランプが点灯しているときは給湯温度の調節が可能です。

燃焼ランプ(赤)
給湯燃焼中に点灯します。

お湯張りランプ(緑)
お湯張りスイッチが「入」のとき点灯します。
設定した湯量まで達すると点滅し、お湯張りスイッチを「切」にすると消灯します。 (→P.9)

お湯張りスイッチ
スイッチが「入」のとき、設定した湯量までお湯はりすると、出湯が停止して音声でお知らせします。
その後給湯栓を閉じてください。
(→P.9)

設定スイッチ
お湯張り温度お湯張り量音量を設定するときに押します。 (→P.10～11)



表示画面
通常は給湯温度を表示しています。
また設定変更時には、お湯張り温度お湯張り量・音量を表示します。

お湯張り温度変更表示
お湯張り温度を変更するときに点灯します。

お湯張り量変更表示
お湯張り量を変更するときに点灯します。

音量変更表示
音量を変更するときに点灯します。

運転スイッチ
操作するときに最初に押して「入」にします。
給湯温度を表示します。 (→P.7)

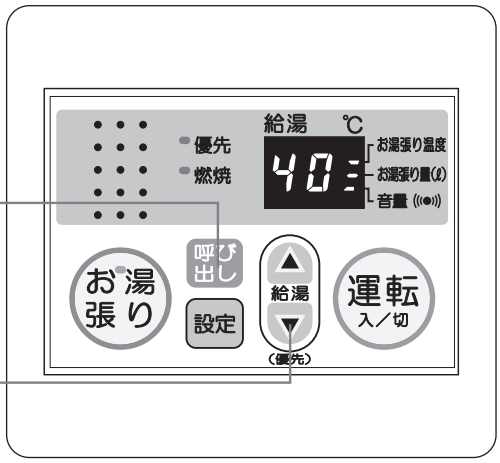
給湯温度設定スイッチ
給湯温度・お湯張り温度・お湯張り・音量を調節するときに使用します。

□浴室リモコン [FC-201U/FC-201W](別売品)

※説明は本体操作部との違いのみ説明します。それ以外は本体操作部の説明をご覧ください。

呼び出しスイッチ
スイッチを押すと、本体操作部でチャイムと音声が流れてお知らせします。 (→P.11)

給湯温度設定スイッチ
給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときに使用します。
給湯温度を調節するときに優先切替ができます。



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

■機器の準備

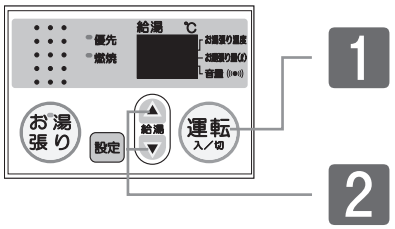
1. 機器や機器周辺の点検・確認を行う (→P.14)
2. 給水元栓を全開にする
   機器の下部にあります。
3. 給湯栓を開ける
   水が出ることを確認したら閉めます。
4. ガス栓を全開にする
   機器の下部にあります。
5. 電源プラグをコンセントに差し込む
   機器周辺にあります。

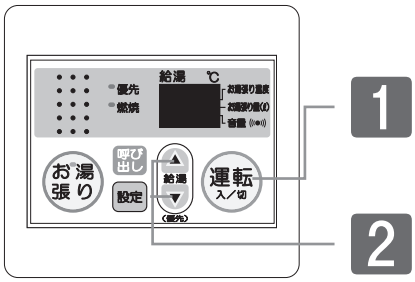
お湯を使うには

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。

■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先ランプが点灯しているリモコンで操作できます。





⚠警告

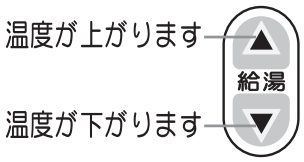
- ●給湯・シャワーなどを使うときは、本体操作部またはリモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- ●シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切り替え・**運転**スイッチを「切」にしない。シャワーの温度が急変し、危険です。**必ず浴室リモコンを優先**にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。

1 運転 入/切 を押して「入」にする



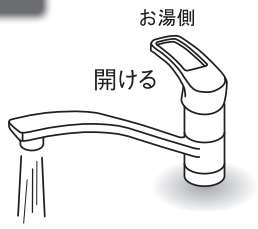
給湯温度を表示します。

2 給湯温度を変更する場合は ▲ または ▼ を押す



給湯温度の目安は(→P.7)
温度の変更ができない場合は優先ランプの点灯を確認します。(→P.8)

お湯を出す 給湯栓を開ける





各リモコンで燃焼ランプが点灯します。

お湯を止める 給湯栓を閉める



燃焼ランプが消灯します。
※ただし、他の給湯栓が使用中のときは消灯しません。

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(℃)　　40：工場出荷時

37 38	39 40 41 42 43	44 45 46 47	50 55 60 70 75
食器洗いなど	シャワー・給湯など	給湯など	高温

やけど防止のため、給湯温度を60℃より70℃に設定するときは▲を長押し(2秒以上)しないと温度が上がりません。
他の場所でお湯が使われていないことを確認のうえ、温度を上げてください。

※50℃以上に設定した場合にはチャイムが鳴り、音声が2回流れます。



熱い温度にセットされました
注意してください

お湯を使うには

お知らせ

- 本体表示部に表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためエラー番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め、**運転**スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてから再度給湯栓を開けてお使いください。
- 夏場など水温が高い場合、“食器荒いなど”に設定にしても本体操作部に表示の給湯温度より高い湯温となる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。

お願い

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 設定した給湯温度は**運転**スイッチを「切」にしても記憶していますが、給湯温度を60℃以上に設定した場合はやけどなどの危険防止のため、再度**運転**スイッチを「入」にしたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって復電した後は、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

□給湯温度が変更できないときは

給湯温度を調節するには、リモコンに優先ランプの点灯が必要です

1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。
このような事故などを防ぐために、優先ランプが点灯しているリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。優先ランプは**運転**スイッチを「入」にしたリモコンに表示します。

2の操作で給湯温度の変更ができない場合は、優先ランプが点灯しているか確認してください。優先ランプが点灯していない場合は、以下の方法で優先ランプを点灯させてください。

□浴室リモコンで行う

1 ▼を押す



優先ランプが点灯し、浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。

□本体操作部で行う

1 運転 入/切 を押して一度「切」にし、再度押して「入」にする



ほかでお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。

優先ランプが点灯し、本体操作部で記憶していた給湯温度を表示します。

メモ

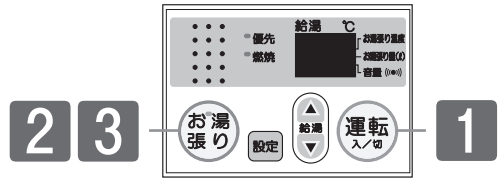
- 優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃以上だった場合、自動的に55℃にセットし直されます。

浴槽にお湯張りをするには

■お湯張り機能を使ってお湯張りする

□お湯張り機能について

設定した湯量になると、お湯を自動的に停止し、本体操作部・浴室リモコンからチャイムと音声ガイドでお知らせします。



⚠注意 ●入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 運転入/切を「入」にし、お湯張りを押す



お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから、蛇口を開けてください

お湯張り温度を表示し、お湯張りランプが点灯します。

2 おふろの栓をして、給湯栓を開ける



燃焼ランプが点灯します。

設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります



おふろに入れます
蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください

燃焼ランプが消灯し、お湯張りランプが点滅します。

※音声ガイドで流れる**“蛇口”**は、給湯栓のことをいいます。

3 給湯栓を閉めてからお湯張りを押す



お湯張りランプが消灯し、給湯温度を表示します。

❗お湯張り終了後はお湯張り終了の操作をするまで、他の給湯栓を開けてもお湯はでません。

お湯張り中止 給湯栓を閉めてからお湯張りを押す

停電時は 給湯栓を閉め、浴槽を空にしてから、お湯張りをやり直してください

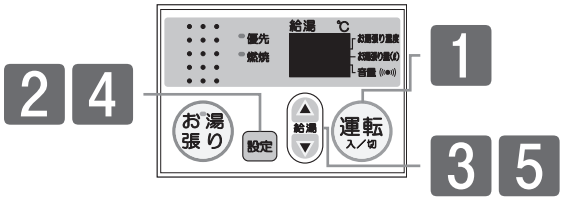
お願い

- ●お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- ●お湯張り機能を使ってお湯張り中に、台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドが流れます)
- ●お湯張り中には優先の切替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、**“お湯張りをしています”**と音声が流れて受け付けません。
- ●お湯張り終了後は、すぐに給湯栓を閉め、お湯張りを押してください。**お湯張り**スイッチを押すまで、他の給湯栓を開けてもお湯は出ません。
- ●お湯張り終了後に給湯栓を閉めないまま**お湯張り**スイッチを押すと、給湯栓から再びお湯が出ます。(お湯は自動的に止まります)リモコンからチャイムと**“蛇口が開いています　蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”**の音声ガイドが流れ、“ＣＬ”を点滅表示します。“ＣＬ”は、お湯張りをしていた給湯栓を閉めてから、お湯張りを押すと解除されます。

浴槽にお湯張りをするには

■お湯張り温度・お湯張り量の設定

お好みで設定することができます。

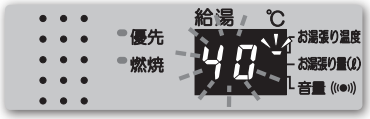


1 運転入/切を「入」にする



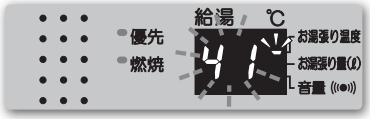
給湯温度を表示します。

2 設定を押す



お湯張り温度変更モード表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

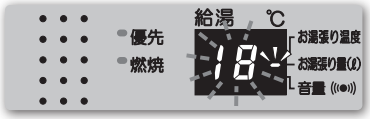
3 ▲または▼を押して、お湯張り温度を設定する



燃焼ランプが点灯します。
▲・▼は、お湯張り温度が点滅している間に押します。

※続けてお湯張り量を設定するときは、お湯張り温度が点滅している間に**4**へ進みます。

4 設定を押す



お湯張り量変更モード表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 ▲または▼を押して、お湯張り量を設定する

しばらくたつと確定します





▲・▼は、お湯張り量が点滅している間に押します。
※リモコンは上位2桁を表示します。
例)200ℓ→20

設定が終了すると給湯温度を表示します。

お湯張り温度の目安(℃)　40：工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

お湯張り量の目安(℃)　18：工場出荷時

リモコン表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50
湯量(ℓ)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500

お願い

- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれる場合があります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してからお好みの湯量に調節することをおすすめします。
- お湯張り温度・湯量は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後再通電したときは、お湯張り温度40℃・湯量180ℓになりますので再度設定してお使いください。

メモ

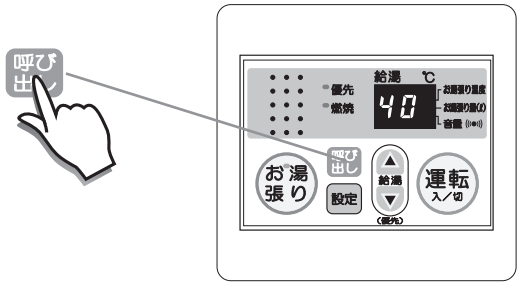
- サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、設定温度を通常使用している温度に下げてください。
- お湯張り終了後に給湯栓を閉めお湯張りを押さないままにしておくと、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。(給湯栓が閉められたかどうかを機器が確認する動作です)チャイムが鳴り、**“蛇口が開いています　蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”**と音声ガイドが流れます。そのまま10分以上終了操作が行われないと、リモコンに“CL”が点滅表示されます。給湯栓から水は出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。

浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

■呼び出し機能を利用する

浴室リモコンの**呼び出し**スイッチを押すと、本体操作部でチャイムを鳴らして知らせます。

呼び出しスイッチを押す



浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。
本体操作部ではチャイムが鳴り、
“おふろで呼んでいます”
と2回鳴ってお知らせします。

メモ

- **運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- インターホンの機能は付いていません。

音量を変更するには

■音量の設定

音量はそれぞれのリモコンで、別々に設定できます。

1 運転 入／切 を「入」にする



給湯温度を表示します。

2 音量変更表示が点灯するまで 設定 を押す



音量が点滅します。

3 ▲ または ▼ を押してお好みの音量に設定する



▲・▼ は、音量が点滅している間に押します。

4 しばらくたつと確定します



給湯温度を表示します。

音量の目安　　3(大)：工場出荷時

0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)

メモ

- 設定した音量は、**運転**スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで**呼び出し**スイッチが押されたときには、本体操作部の呼び出し音声は「大」で流れます。
- 本体操作部の呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音は調節できません。
- **設定**スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

お願い
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1 ← 通常の寒さのとき

処置 2または3 ← 外気温が−15℃を下回るとき−15℃より高くても風のある日

処置 3 ← 長期間使用しないとき

処置 1 凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

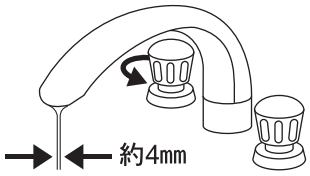
◆凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

処置 2 給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 **運転**スイッチを「切」にし、ガス栓を閉める
必ず行います。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける
流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。



※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にします。

処置 3 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排出し凍結予防をします。

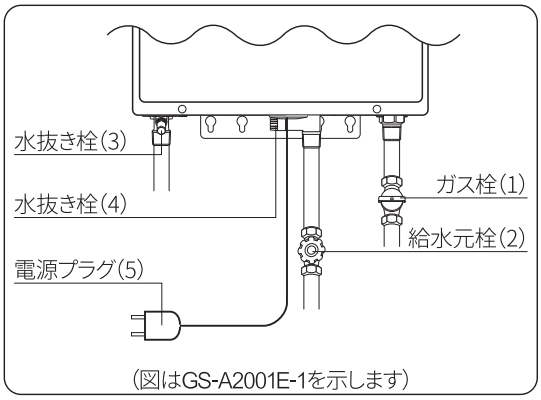
⚠注意
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.15)

1 ガス栓(1)と給水元栓(2)を閉める

2 すべての給湯栓を全開にする

3 水抜き栓(3)(4)を外して水が出ることを確認する

4 **運転**スイッチを「切」にする
10秒以上経過後、電源プラグ(5)を抜く



(図はGS-A2001E-1を示します)

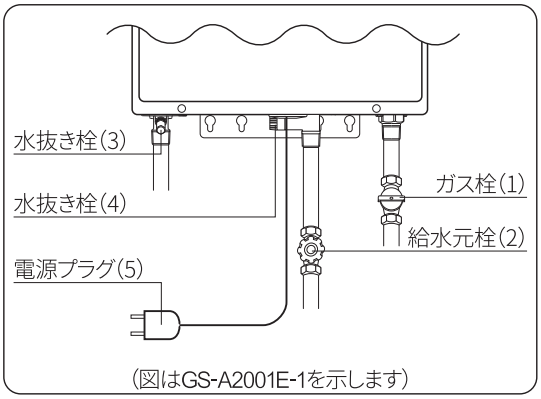
お願い
- 水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

⚠注意	●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.15)

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。



(図はGS-A2001E-1を示します)

1. 水抜き栓(3)(4)およびすべての給湯栓を閉める
2. 給水元栓(2)を開け、すべての給湯栓も開けて水が出ることを確認する
   機器や配管から水漏れがないことを確認し、給湯栓を閉める
3. ガス栓(1)を開ける
4. 電源プラグ(5)をコンセントに差し込む

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。
解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1. ガス栓および給水元栓を閉める

※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2. リモコンの**運転**スイッチを「切」にする
3. ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する
   水が出てくれば使用できます
4. ガス栓を開ける

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5. リモコンの**運転**スイッチを「入」にする

お願い

- ●再使用するときは水抜き栓を元に戻し、確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。
- ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど、水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

⚠警告	●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。  分解禁止

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。



■点検のポイント(月1回程度) 以下のポイントで点検してください。

1.機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2.機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3.運転中に機器から異常音がしませんか？
4.機器の外観に異常は見られませんか？
5.機器のまわり、および給排気管・排気筒(トップを含む)のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6.給排気管・排気筒(トップを含む)の損傷や詰まり、外れていることはありませんか？

GS-A2001E,A1601E シリーズをご使用の場合は以下のポイントも点検してください。

7.給気フィルターに、ごみ・ほこりが詰まっていたり、変形・破損はありませんか？
8.給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
9.給気フィルターが物などで塞がれていませんか？

長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も５年、１０年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなかったり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じた。
②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。
※常に４０℃前後でご使用のお客様は、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。
③お湯が熱くなったり、ぬるくなったりする。
④給湯器の給排気筒トップから煙が出ていたり、変なにおいがする。
⑤給湯器の給排気筒トップの周りが黒くなっている。

■お手入れのしかた(月1回程度)



機器本体およびリモコンの掃除

●汚れは、湿ったやわらかい布で、軽く拭き取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

お知らせ

●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
●本体操作部には水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので、故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

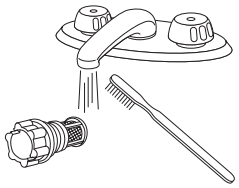
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

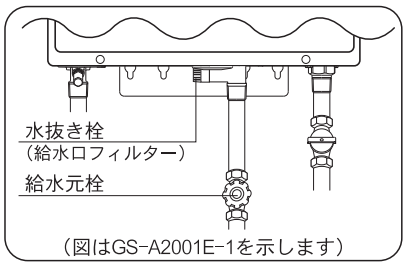
給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1. 給水元栓を閉める
2. 水抜き栓を外す
3. 歯ブラシなどで洗う
4. 水抜き栓を元に戻す



5. 給水元栓を開ける



(図はGS-A2001E-1を示します)

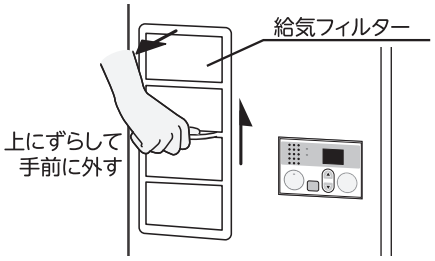
給気フィルターの掃除

GS-A2001E,A1601E シリーズにあります。

給気フィルターは月に一度は必ず掃除してください。給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、本体操作部または浴室リモコンの表示画面にエラー番号"051"が点滅し、"ピッピッピッピ・・・"と鳴ります。エラーブザーの停止は、**運転**スイッチを押してください。

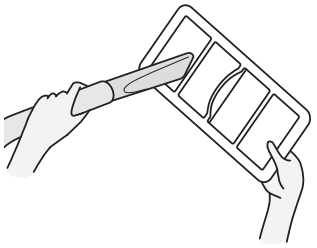
給気フィルターを外す

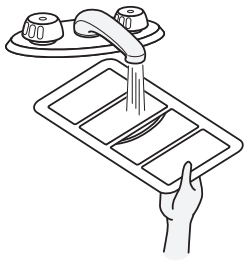
1. 本体操作部またはリモコンの**運転**スイッチを「切」にする
2. 給気フィルターを上にずらし、手前に引いて外す



給気フィルターを掃除する

1. ほこりやゴミを掃除機で軽く吸い取るか、水洗いする
2. 給気フィルターを元に戻す
ぬれている場合は、よく乾かしてから、取り付ける





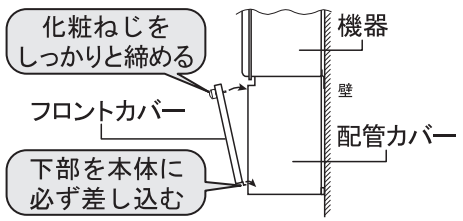
■点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れ後は、ガス栓を開いて**運転**スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、
必ず外したカバーを元に戻してください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
②化粧ねじを確実に締める。



お願い

●給気フィルターをベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
●給気フィルターを外したままでは使用できません。また、ぬれたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因になります。
※給気フィルターのアミの破れ・変形・損傷した場合は、お買い上げの販売店でお求めください。

メモ

●給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●給水口フィルターは、元のとおりに確実に閉めてください。閉め方が不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」（有料・任意点検）をお受けいただくことをおすすめいたします。

■あんしん点検について

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- 点検の実施は、全国の弊社サービス店が行います。
- 点検の内容および点検基準は、当社で設定しています。
- 点検の結果は、作業終了後その場で「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をご提案させていただきます。この場合、整備（修理・部品の交換など）を行って使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。
  （製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、**補修用性能部品の保有期間について**（→P.21）をご覧ください）

【点検の料金について】

- 点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費用が発生いたします。
- なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
  https://www.purpose.co.jp/
- インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口「点検受付センター」にご連絡ください。

【点検の時期について】

- 本製品は、設計上の標準使用期間※を１０年と算定しておりますので、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください（無料修理保証期間は保証書を参照願います）。

【点検のお申し込みについて】

- あんしん点検のお申し込み・お問い合わせは、点検受付センターまでご連絡ください。
  フリーコール：0120-323-884　　受付時間 / 年中無休　９：００～１７：００

■お客様情報について

【所有者登録について】

- 製品を安全にお使いいただくために所有者の登録をお願いしております。同梱の所有者票を返信もしくは、インターネットにてご登録ください。

※インターネットから登録される場合は、https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jspもしくは所有者票のQR コードを読み取りご登録ください。
※ご登録いただいたお客様情報は、個人情報保護法および弊社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検（あんしん点検）やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

＊「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

故障かな？と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると機器が燃焼を止め水になります。お湯の出る量を増やしてください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.6)
	断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.4)
	給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。
	夏場など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
	給水口フィルターが詰まっていませんか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.15)
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。
	ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか。
	リモコンの運転は「入」になっていますか。
	お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか。
	凍結していませんか。
	停電していませんか。(→P.3)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.6)
	お湯張り機能を使ってお湯張りした場合、お湯張り終了後に給湯栓を閉め、お湯張りスイッチを押しましたか。(→P.9)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	給水元栓を全開にしてください。(→P.6)
	給湯温度の設定は適切ですか。(→P.7)
	夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
高温のお湯が出ない	ガス栓を全開にしてください。(→P.6)
	給湯温度の設定は適切ですか。(→P.7)
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンに優先が表示されていますか。(→P.8)
給湯栓から出るお湯の量が少ない	お湯を使用中他の場所でお湯を使用したり、お湯張り機能を使ってお湯張りをするとお湯の量が減る場合があります。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。
	給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

故障かな？と思ったら

本体操作部 / リモコン	
こんなとき	**こんなことが考えられます / ここを調べてください**
運転ボタンを押しても「入」にならない 画面が表示しない	停電していませんか。(→P.3)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.6)
燃焼ランプが点灯しない	停電していませんか。(→P.3)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.6)
	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.6)
	給水口フィルターが詰まっていませんか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.15)
	給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。
	断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.4)
	凍結していませんか。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。
	ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか。
60℃より上に給湯温度を変えられない	給湯温度はやけど防止のため、60℃から70℃に変更するには▲スイッチを2秒以上押す必要があります。(→P.7)
音声ガイドが出ない	音量の設定が🔇になっていませんか。設定を確認してください。(→P.11)
音が小さい 音がこもる	音量の設定は適切ですか。(→P.11)
	スピーカー部分に湯(水)がかかっていませんか。
エラー番号が表示された	**リモコンにエラー番号が出たとき** (→P.19) をご覧になり、必要な処置を行ってください。

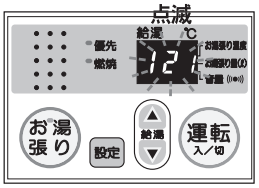
機器	
こんなとき	**こんなことが考えられます / ここを調べてください**
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときは、排気ガス中の水蒸気が外気に触れて結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。
運転中に異常音がする	点検を依頼してください。
ときどき水抜き栓から水が出る 給湯栓を閉めると水抜き栓から一瞬水が漏れる	水抜き栓がしっかり閉めていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の安全装置(電流ヒューズ・漏電スイッチ等)が作動していることが考えられます。GS-A2001E-1(BL)の場合は、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないとき、もしくは他の製品の場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

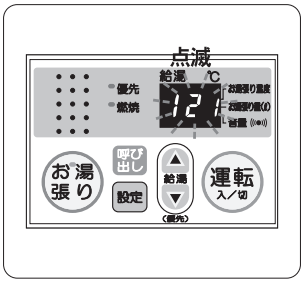
■リモコンにエラー番号が出たとき

不具合が生じたとき、その原因をエラー番号でお知らせします。
原因に応じて表示部にエラー番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。
エラー番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
その際は、表示されているエラー番号もお知らせください。

例：図のようにエラー番号が点滅してお知らせします。



本体操作部



浴室リモコン

お客さまで対処が可能なもの		
エラー番号	原因	処置方法
01₁	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。 **運転**スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
05₁	給気フィルター外れ	給気フィルターが正しく取り付けられていることを確認する。
	給気フィルター詰まり	給気フィルターを掃除する。
11₁ ※1	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 **運転**スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 ※1　エラー番号11₁・12₁が表示されたときは、給湯栓を閉めることによりエラーが解除される場合があります。
12₁ ※1	給湯側失火	
88	使用期間お知らせサイン（故障ではありません）	一般的な使用で10年相当使用されたため、**使用期間お知らせサイン**が表示されました。使用できますが、安全のためあんしん点検（有料）を受けることをおすすめします。（→P.16） 解除の方法は**使用期間お知らせサインの解除方法**（→P.20）をご覧ください。
CL	お湯張り終了後、給湯栓閉め忘れ	給湯栓を閉めて、**お湯張り**スイッチを押す。

以下の場合には、お買い上げの販売店、または弊社窓口までご連絡ください	
エラー番号	原因
10₁	燃焼に異常が生じたため、良好な燃焼を維持できなくなった 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください そのまま使用すると“991”となり、機器の使用ができなくなります
13₁	燃焼に異常が生じたため 窓を開けて室内の換気をし、修理を依頼してください
38₁	機器の燃焼累計時間が一定時間を超えた 機器はしばらく使用できますが、CO センサーが寿命のため、修理を依頼してください
	CO センサーが故障した 機器は使用できません　修理を依頼してください
99₁	修理を依頼してください

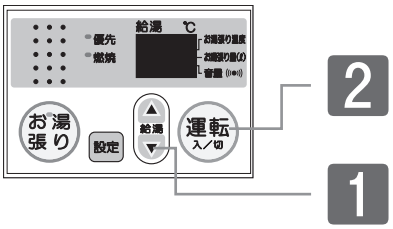
その他のエラー							
03₁	31₁	39₁	51₀	51₁	61₁	70₁	72₁
74₁	75₁						

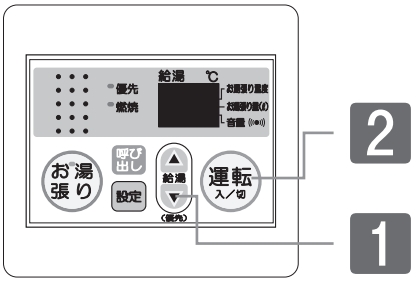
◇処置方法を試してもなお、エラーが表示されるときやその他わからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口までお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

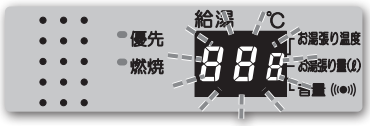
■使用期間お知らせサインの解除方法

使用期間お知らせサインが表示したときは以下の方法により、解除することができます。
機器を安全にご使用いただくため、あんしん点検（有料）をお受けいただくことをおすすめします。





1 エラー番号“888”が点滅している状態で▼を押しながら



2 運転 入／切を２秒以上押す



“888”が消え、給湯温度を表示します。

メモ

●解除することによりエラー番号“888”は消えますが、約１年経過すると再度エラー番号“888”が表示されます。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」(→P.17～19) をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
(2)品名：(例)GS-A2001E-1, ガスの種類：(例)13A
(3)機器の銘板をご覧ください。(→P.1)
(4)現象 (故障または異常内容、エラー番号などできるだけ詳しく)
(5)訪問ご希望日

保証について

●取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の保有期間は製造打切り後7年 (ＢＬ認定品は10年) です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガス栓を閉めます。
(2)給水元栓を閉めます。
(3)機器の水抜きを行います。(→P.12)
(4)電源プラグを抜きます。

アフターサービス等についてわからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。(弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください)

既に製品をご購入いただきご利用中のお客様へ

この取扱説明書は、特定保守製品についての説明が下記の理由により削除されています。

法定点検に関する法令改正について

この製品は、消費生活用製品安全法 (消安法) により特定保守製品に指定されていましたが、法令の改正が令和３年８月１日にあり、特定保守製品の指定の対象から除外されることになりました。

＊お客様のご利用されている製品の特定保守製品ラベルをご覧になり、点検期間の始期が2022年7月以前とされている場合、点検期間中の点検は法定点検の対象となります。
所有者票を返送(またはwebより登録)されているお客様には弊社より法定点検のご案内をさせていただきます。

＊点検期間の始期が2022年8月以降とされている場合、法令改正に基づき、法定点検の対象ではなくなります。所有者票を返送(またはwebより登録)されているお客様には弊社より、あんしん点検のご案内をさせていただきます。

仕様一覧

□仕様表

項目			内容			
品名			GS-A2001E-1 GS-A2001E-1(BL)	GS-A1601E-1	GS-A2000F-1	GS-A1600F-1
型式名			GS-A2000E	GS-A1600E	GS-A2000F	GS-A1600F
外形寸法(㎜)/質量(kg)			幅352×奥行180×高さ580/17		幅352×奥行230×高さ580/18	
種類	給湯方式		先止め式			
	設置方式		屋内壁掛形			
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
水圧	使用水圧		100～500kPa(1.0～5.0kgf/㎠)			
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/㎠)			
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ			
	給水		15A(R1/2)オネジ			
	給湯		15A(R1/2)オネジ			
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)			
	リモコン側		24V以下			
	消費電力	待機時	3.9W(2.6W：COセンサー分を除く)			
		定格	93W	72W	70W	54W
		凍結予防時	106W		110W	
	電源コード		VCT(2心)機外長1.5m			
安全装置			空だき防止装置(水量センサ) ファン回転検知装置(回転数検知方式) 電流ヒューズ(過電流防止装置) 不完全燃焼防止装置(COセンサー：GS-Eタイプ)	凍結予防ヒータ(ヒータ) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) …GS-A2001E-1(BL)のみ		立ち消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 燃焼監視装置(COセンサー：GS-Fタイプ)

□能力表

型式名	使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}	出湯能力(最大値) (ℓ/min)		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
GS-A2000E	都市ガス	13A	42.4{36,500}	20.0	12.5	15A (R1/2)
		12A	39.5{34,000}	18.7	11.7	
	LPガス		42.4{3.03kg/h}	20.0	12.5	
GS-A1600E	都市ガス	13A	33.7{29,000}	16.0	10.0	
		12A	31.4{27,000}	14.9	9.3	
	LPガス		33.7{2.41kg/h}	16.0	10.0	
GS-A2000F	都市ガス	13A	41.9{36,000}	20.0	12.5	
		12A	39.0{33,500}	18.7	11.7	
	LPガス		41.9{2.99kg/h}	20.0	12.5	
GS-A1600F	都市ガス	13A	33.7{29,000}	16.0	10.0	
		12A	31.4{27,000}	14.9	9.3	
	LPガス		33.7{2.41kg/h}	16.0	10.0	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/㎠}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

商品保証書

ガス給湯器

品名 GS-A2001E-1　GS-A2001E-1(BL)　GS-A1601E-1　GS-A2000F-1　GS-A1600F-1

お買い上げ日		年　月　日	保証期間および保証対象区分	非BL認定品	1年	
お客様	ご芳名	様		BL認定品	熱交換器	3年
					それ以外の部分	2年
	ご住所					
販売店	店　名	電話番号			扱者印	
	住　所				印	

見本

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。

(2) 万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。

(3) サービス員が参上したときに本証書をご提示ください。紛失されると有料修理となる場合があります。

(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。

(イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。

(ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。

(ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ、摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。

(ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。

(ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。

(ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。

(ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異・凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。

(チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。

(リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。

(ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。

(ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。

(ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。

(5) 本書は、日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

(6) この保証書によっては保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(7) 商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社　〒417-8505　静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)	点検受付センター(点検のお問い合わせ先)	お客様相談室(商品や技術のお問い合わせ等)
TEL 0120-260-884(通話料金無料)	TEL 0120-323-884(通話料金無料)	TEL 0545-32-1389
携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。	受付時間:年中無休　9:00 ～ 17:00	受付時間　平日　9:00 ～ 19:00 土曜日・日曜日・祝日　9:00 ～ 17:00
受付時間:年中無休　24 時間修理受付		

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。